保健師最前線

気持ちにゆとりを持って接する

亀岡市
片山　賀子さん

３年間看護師として働いた後、保健師となり、今年で保健師暦１６年目のベテランだ。

昨年まで障害福祉課に所属し８年間にわたり福祉に携わってきたが、今年から健康増進課へ戻ることになった。現在は母子保健を担当し、主に発達障害児支援を行っている。

基本的な業務として妊婦健診や乳幼児健診等を行い、母子ともに健やかに生活してもらえるよう努めている。また、発達確認アンケートを実施したり、母親の悩み相談を行ったりすることで、発達障害児の早期発見・適時介入・早期支援をめざしている。

「事務作業が増える中で、一つひとつの事業整理、作業効率化をして時間を確保することが課題です。」確保した時間の中で、より多くの地域住民とコミュニケーションを図り、保健師だからこそできることを常に追求している。

コミュニケーション等の対人の中では、元気で心にゆとりがある状態を保っていられるように心がけている。また、保健師であるとともに亀岡市の職員であることを意識して、身なりや挨拶など、小さな気遣いを大切にしている。

「久しぶりに母子保健を担当し、新たな気持ちで楽しく仕事ができ、前向きな気持ちでいることができます。」

これからも気持ちにゆとりを持って、保健師として、亀岡市職員として地域住民と接していくのである。